



# 取扱説明書

## DuraVision® FDS1721T

タッチパネル装着カラー液晶モニター

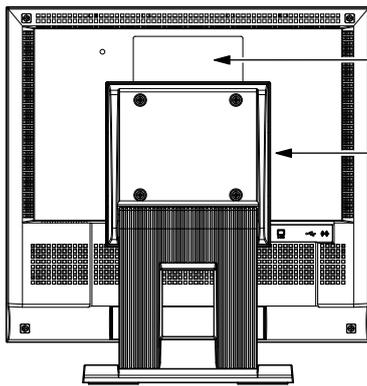
### 重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書および使用上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

- ・モニターの設定 / 接続については、セットアップガイドを参照してください。
- ・取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

[www.eizo.co.jp](http://www.eizo.co.jp)

## 警告表示位置



The equipment must be connected to a grounded main outlet.  
L'appareil doit être relié à une prise avec terre.  
Jordet stikkontakt skal benyttes når apparatet tilkobles datanett.  
Apparaten skall anslutas till jordat nätuttag.  
设备必须连接到接地的电源插座。  
電源コードのアースは必ず接地してください。

	<b>CAUTION</b> Risk of electric shock. Do not open.	
<b>ATTENTION</b> Risque de choc électrique. Ne pas ouvrir.		
<b>ACHTUNG</b> Gefahr des elektrischen schlagens. Rückwand nicht entfernen.		
<b>小心</b> 有触电的危险。请勿打开。		
<b>警告：高压注意</b> サービスマン以外の方は裏ふたをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。		

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# モニターについて

---

この製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途に適しています。

この製品を筐体組み込みなどで使用する場合は当社にお問い合わせください。

---

製品の仕様は販売地域により異なります。販売地域外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product has been adjusted specifically for use in the region to which it was originally shipped. If the product is used outside the region, it may not operate as specified in the specifications.

---

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

---

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

---

この製品には、当社別売オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

---

ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、スタンドの底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。

---

モニターの表示が安定するまでに、約30分（当社測定条件による）かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

---

長時間使用することによる画面品位の劣化を抑え、長くご使用いただくには、輝度を下げて使用されることをお勧めします。

---

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

---

表示状態を長時間続けると、表示面に黒いシミやムラ、焼き付きが発生する場合がありますのでご注意ください。モニターを長くお使いいただくため、定期的にモニターの電源をオフにすることをお勧めします。

---

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「[クリーニングの仕方](#)」(P.4) 参照）。

---

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

---

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。長時間連続使用など、ご使用状態によっては、バックライトの寿命が早まり、交換が必要となる場合があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

---

液晶パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

---

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

---

（タッチパネル使用時の注意事項）

次の点に注意してください。故障の原因となります。

- タッチパネルを強く押したり、こすったり、突いたりしないでください。
  - ボールペンや金属類などの硬い物でタッチパネルをタッチしないでください。
-

## クリーニングの仕方

---

キャビネットや液晶パネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせて、やさしくふき取ってください。

### 注意点

- タッチパネル面とタッチパネルの外枠との間に、液体が入らないように注意してください。
- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットや液晶パネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

### 参考

- キャビネットや液晶パネル面のクリーニングにはScreenCleaner（別売オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。
- 

## モニターを快適にご使用いただくために

---

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

# 目次

モニターについて.....	3	第5章 こんなときは.....	24
クリーニングの仕方.....	4	5-1. 画面が表示されない場合.....	24
モニターを快適にご使用いただくために.....	4	5-2. 画面に関する症状（デジタル、アナログ共通）.....	25
目次.....	5	5-3. 画面に関する症状（アナログのみ）.....	26
第1章 はじめに.....	6	5-4. タッチパネルに関する症状.....	27
1-1. 特長.....	6	5-5. その他の症状.....	27
1-2. 各部の名称と機能.....	7	第6章 ご参考に.....	28
1-3. EIZO LCDユーティリティディスクについて.....	8	6-1. オプションアーム取付方法.....	28
● ディスクの内容と概要.....	8	6-2. 複数のコンピュータを接続する.....	29
● タッチパネルドライバを使用するときは.....	8	6-3. 仕様.....	30
1-4. 対応解像度.....	9	付録.....	32
● アナログ信号（D-Sub）入力時.....	9	商標.....	32
● デジタル信号（DVI-D）入力時.....	9	ライセンス.....	32
第2章 基本の調整 / 設定.....	10	VCCI.....	32
2-1. ボタンの操作方法.....	10	その他規格.....	32
2-2. 入力信号を切り替える.....	11	アフターサービス.....	33
2-3. 表示モード（カラーモード）を切り替える...11			
● モードの種類.....	11		
2-4. Ecoに使う.....	12		
2-5. 明るさを調整する.....	13		
2-6. 音量を調整する.....	13		
第3章 詳細な調整 / 設定.....	14		
3-1. 設定メニューの基本操作方法.....	14		
3-2. 設定メニューの各機能.....	15		
● カラー調整.....	15		
● 信号設定.....	18		
● 本体設定.....	20		
● 言語選択.....	21		
● インフォメーション.....	21		
第4章 管理者向け設定.....	22		
4-1. 「Administrator Settings」メニューの基本操作方法.....	22		
4-2. 「Administrator Settings」メニューの各機能...23			

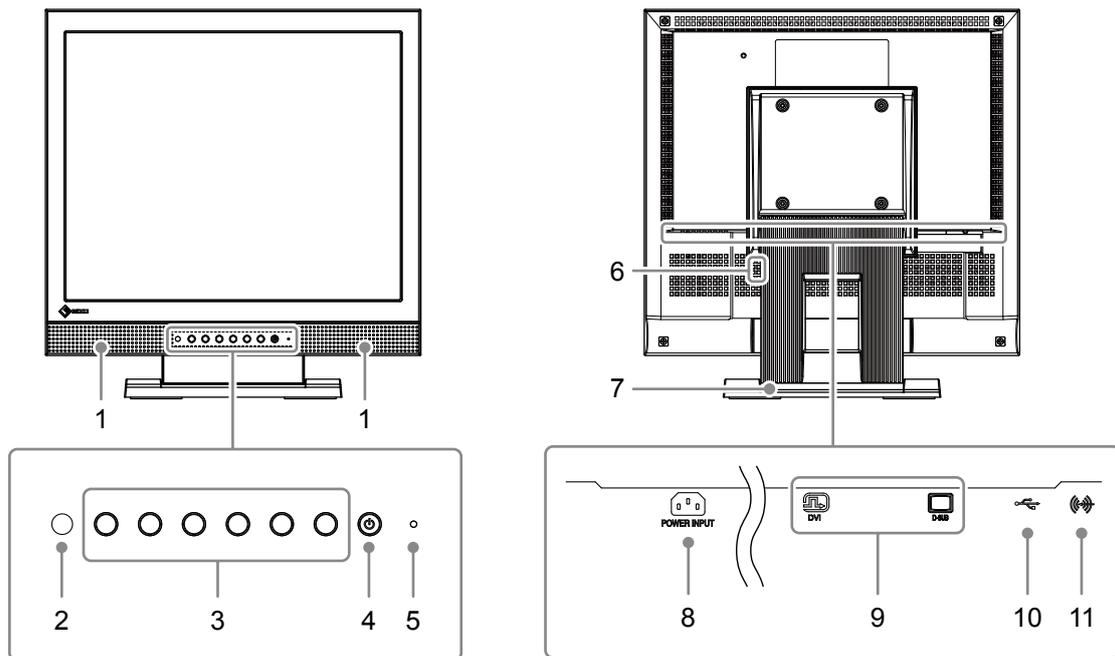
# 第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

## 1-1. 特長

- 17型画面
- 解像度1280 × 1024 対応
- LEDバックライト液晶パネル搭載  
従来の蛍光灯バックライト液晶パネルと比較して電力効率が高く、消費電力が抑えられます。また、有害物質である水銀を含有していません。
- タッチパネル標準装備
  - 超音波表面弾性波方式を採用  
耐久性と透過率の高いタッチパネルです。手袋をはめたままでも操作が可能です。
- ステレオスピーカー搭載
- 省電力機能  
消費電力を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。この製品は省電力のための機能を搭載しています。
  - Auto EcoView（オートエコビュー）機能  
モニター正面の外光センサーが周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。不必要に明るくすると、消費電力の増加により環境に悪影響をおよぼし、目にも負荷を与えます。Auto EcoViewを使用して輝度を下げることができます。  
[「2-4. Ecoに使う」 \(P.12\) 参照](#)

## 1-2. 各部の名称と機能



1. スピーカー	音声を出力します。
2. 外光センサー	周囲の明るさを検知します。Auto EcoViewを使用すると、周囲の明るさに合わせて、画面の明るさが自動的に調整されます (P.12)。
3. 操作ボタン	メニューを表示します。操作ガイドに従って操作します (P.14)。
4. 電源ボタン	電源のオン/オフを切り替えます。
5. 電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 青： 通常動作モード 橙： 省電力モード 消灯： 電源オフ
6. 盗難防止用ロック	Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。
7. スタンド	角度が調整できます。
8. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
9. 信号入力コネクタ	左：DVI-Dコネクタ / 右：D-Sub15ピン (ミニ) コネクタ
10. USBアップストリームポート	コンピュータとモニターをUSBケーブルで接続します。
11. ステレオミニジャック	ステレオミニジャックケーブルを使って外部機器に接続すると、外部音声をモニターから出力できます。

## 1-3. EIZO LCDユーティリティディスクについて

この製品には「EIZO LCDユーティリティディスク」(CD-ROM)が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は次のとおりです。

### ● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、タッチパネル用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内のReadmeja.txtを参照してください。

項目	概要	Windows	Macintosh
Readmeja.txtファイル		○	○
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。	○	○
タッチパネルドライバ	タッチパネルモニターをWindowsで動作させるために必要なドライバです。	○	—
モニターの取扱説明書 (PDFファイル)		○	○
タッチパネルドライバのインストールガイド (PDFファイル)		○	—

### ● タッチパネルドライバを使用するときは

タッチパネルドライバの動作条件やインストール方法、使用方法については、ディスク内のインストールガイドを参照してください。

最新のソフトウェアおよびインストールガイドは、当社のWebサイトからダウンロードできます。

[www.eizo.co.jp](http://www.eizo.co.jp)

## 1-4. 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

### ● アナログ信号 (D-Sub) 入力時

解像度	垂直走査周波数
640×480	60Hz
720×400	70Hz
800×600	56 / 60Hz
1024×768	60Hz
1280×800	60Hz
1280×960	60Hz
1280×1024 <sup>※1</sup>	60Hz

※1 推奨解像度です。

### ● デジタル信号 (DVI-D) 入力時

解像度	垂直走査周波数
640×480	60Hz
720×400	70Hz
800×600	60Hz
1024×768	60Hz
1280×800	60Hz
1280×960	60Hz
1280×1024 <sup>※1</sup>	60Hz

※1 推奨解像度です。

## 第2章 基本の調整 / 設定

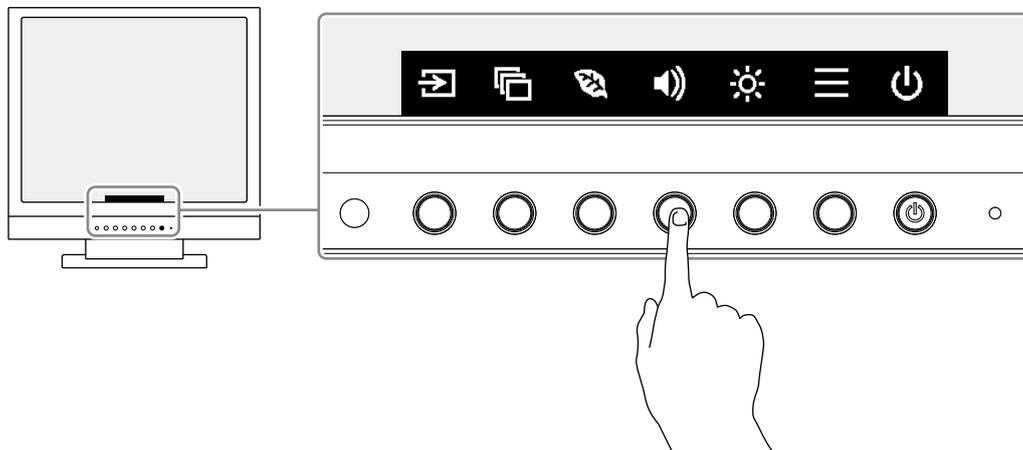
この製品は、使用環境やお好みに合わせて明るさを変えたり、消費電力を抑えてEcoに使ったりすることができます。

この章では、モニター前面のボタンを押すことで調整 / 設定できる基本の機能を説明します。設定メニューを使って詳細に調整 / 設定する方法については「[第3章 詳細な調整 / 設定](#)」(P.14)を参照してください。

### 2-1. ボタンの操作方法

#### 1. 操作ガイドの表示

1. いずれかのボタンを押します（を除く）。  
画面に操作ガイドが表示されます。



#### 2. 調整 / 設定

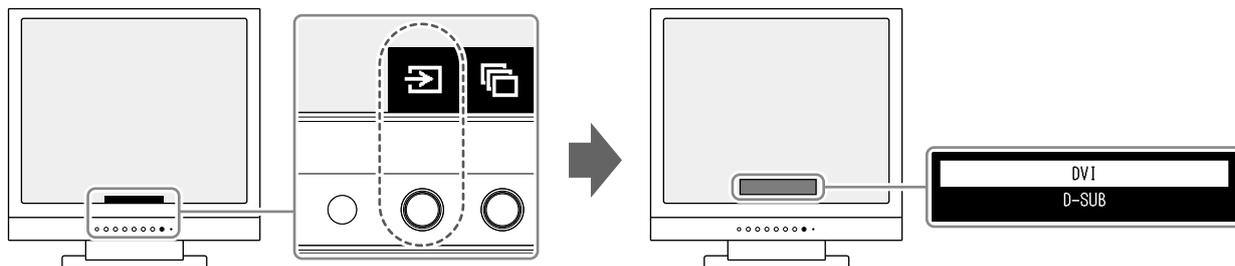
1. 調整 / 設定したいボタンを押します。  
調整 / 設定メニューが表示されます。  
(サブメニューが表示される場合もあります。その場合は、  で調整 / 設定したい項目を選択し、 を選択します。)
2. 各ボタンで調整 / 設定し、 を選択して確定します。

#### 3. 終了

1.  を選択してメニューを終了します。

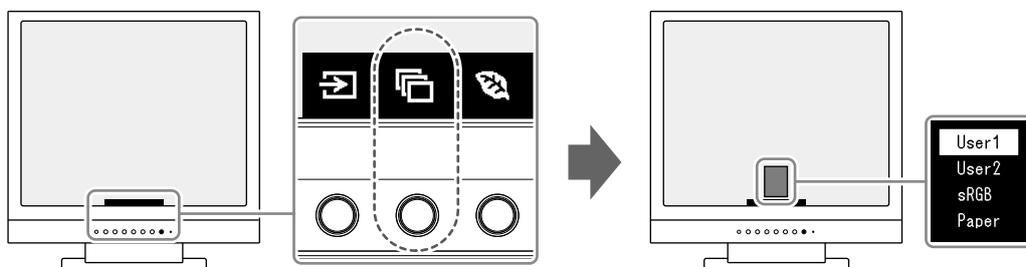
## 2-2. 入力信号を切り替える

モニターに複数の信号を入力している場合、画面に表示する信号を切り替えることができます。



## 2-3. 表示モード（カラーモード）を切り替える

この製品は、表示用途に適したカラーモードをあらかじめ準備しています。用途や表示内容に合わせてモードに切り替えてみましょう。コンテンツに適した状態で画像を見ることができます。



### ● モードの種類

カラーモード	目的
User1 User2	お好みの表示に設定したい場合に選択します。
sRGB	デジタルカメラで撮影した写真をプリンタで印刷するなど、sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
Paper	紙に似た色味とコントラストで、紙に印刷したような見え方になります。書籍や文書などの表示に適しています。

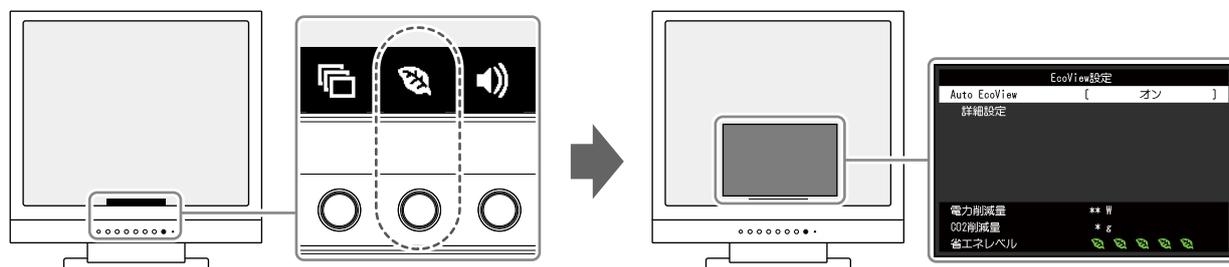
#### 参考

- Paperモードでは色味の変更と輝度の抑制によって、画面から発生するブルーライトを削減します。

## 2-4. Ecoに使う

この製品には、モニターをEcoに使うためのEcoView機能が搭載されています。

ムダな電力の消費を抑えて、電気代を節約することができます。省電力はCO<sub>2</sub>の排出量の削減にもつながります。



### 参考

- ・「EcoView設定」メニューでは省電力の度合い（電力削減量、CO<sub>2</sub>削減量、省エネレベル）を確認できます。省エネレベルを表すインジケータが多く点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。
  - 電力削減量：ブライトネスの調整値に応じた、バックライト消費電力の低減量です。
  - CO<sub>2</sub>削減量：電力削減量から換算した、モニターを1時間使用した場合に削減できるCO<sub>2</sub>排出量の目安です。
- ・数値は「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令（平成18年経済産業省 環境省令第3号）に定める初期設定値（0.000555t-CO<sub>2</sub> / kWh）」を元に算出しており、国、年度などによって変わる可能性があります。

機能		説明	
Auto EcoView (オートエコビュー)		Auto EcoViewを使用するとモニター下部の外光センサーが周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。明るさを適切に調整することで、バックライトにかかる電力を抑えることができます。 さらに、画面がまぶしすぎたり暗すぎたりすることによる目への負担や疲労を和らげます。  「詳細設定」で、モニターの使用環境やお好みに合わせて、自動調整の範囲を設定することもできます。  設定値：オン、オフ <b>参考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Auto EcoView機能を使用する場合は外光センサーをふさがないように注意してください。</li> <li>・ Auto EcoViewの設定が「オン」の場合でも、お好みに合わせて、モニター前面の操作ボタン（）またはカラー調整で「ブライトネス」を変更することができます。また、変更した値に合わせて、Auto EcoViewの明るさの変化の仕方も変わります。</li> </ul>	
詳細設定	最大値 最小値	ブライトネス	自動調整の明るさの範囲を設定します。 調整範囲の最大値と最小値をあらかじめ設定することで、設定した範囲内でのみ、明るさが自動調整されます。  設定値：0～100 <b>参考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最大値と最小値のブライトネスを同じ値にすることはできません。</li> </ul>
		環境光	初期設定で使用されることをお勧めします。 （初期設定：最大値「明」、最小値「暗」）  設定値：明、暗、標準 <b>参考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「環境光」の設定について、詳細は当社のWebサイトを参照してください（<a href="http://www.eizo.co.jp">www.eizo.co.jp</a>）。</li> </ul>
	リセット		詳細設定の設定内容を初期設定に戻します。

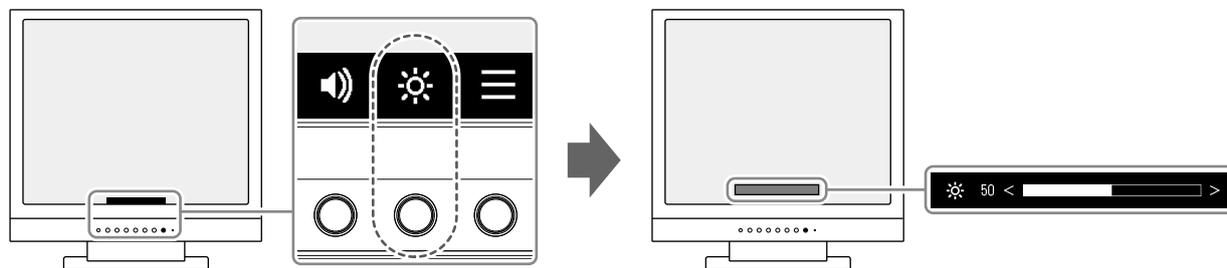
## 2-5. 明るさを調整する

設置環境やお好みに合わせて、画面の明るさを調整できます。

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

### 設定値

0～100



### 参考

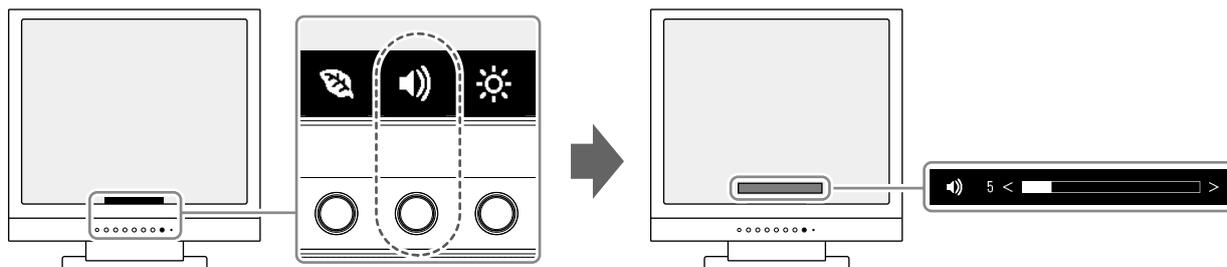
- Auto EcoViewが「オン」に設定されている場合、調整範囲に次のような制限があります。（Auto EcoViewについては、「[Auto EcoView](#)」(P.12)を参照してください。）
  - Auto EcoViewの詳細設定の最大値 / 最小値のブライトネス値より、設定を上げる / 下げることができません。
  - モニターの設置環境が極端に明るすぎたり、暗すぎたりする場合は、「ブライトネス」の調整ができないことがあります。

## 2-6. 音量を調整する

スピーカーの音量を設定することができます。

### 設定値

0～30



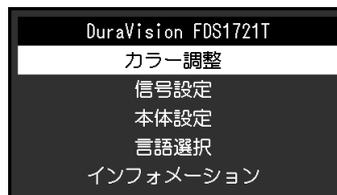
# 第3章 詳細な調整 / 設定

この章では、設定メニューを使ってモニターを詳細に調整 / 設定する方法を説明します。  
基本的な機能については、「第2章 基本の調整 / 設定」(P.10)を参照してください。

## 3-1. 設定メニューの基本操作方法

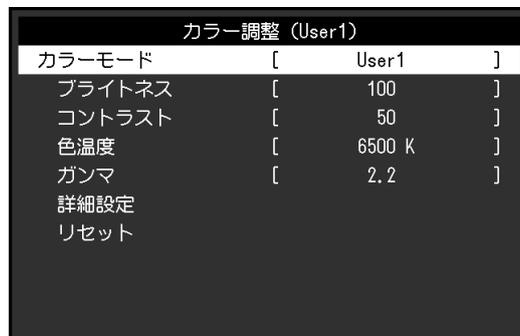
### 1. メニューの表示

1. いずれかのボタンを押します (⏻を除く)。  
操作ガイドが表示されます。
2.  を選択します。  
設定メニューが表示されます。



### 2. 調整 / 設定

1.   で、調整 / 設定したいメニューを選択し、 を選択します。  
サブメニューが表示されます。



2.   で、調整 / 設定したい項目を選択し、 を選択します。  
調整 / 設定メニューが表示されます。



3.   または   で、調整 / 設定し、 を選択して確定します。  
サブメニューが表示されます。  
調整 / 設定中に  を選択すると、調整 / 設定を中止して変更前の状態に戻ります。

### 3. 終了

1.  を数回選択すると、設定メニューが終了します。

## 3-2. 設定メニューの各機能

### ● カラー調整

カラーモードの設定状態を、お好みに合わせて調整できます。



#### 注意点

- ・ モニターの表示が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。
- ・ モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

調整できる機能は、カラーモードにより異なります。

○：調整可 ー：調整不可

機能	カラーモード			説明
	User1 User2	sRGB	Paper	
カラーモード	○	○	○	<p>モニターの用途に応じた表示モードに切り替えます。</p> <p>カラーモードの設定状態はお好みに合わせて、調整することもできます。調整するモードを選択し、各機能で調整してください。</p> <p>設定値：User1、User2、sRGB、Paper</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各モードの調整状態は、「2-3.表示モード（カラーモード）を切り替える」（P.11）を参照してください。</li> </ul>
ブライトネス	○	○	○	<p>バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。</p> <p>設定値：0～100</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブライトネスが100でも画面が暗いと感じたり、0でも画面が明るいと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。</li> </ul>

機能	カラーモード			説明
	User1 User2	sRGB	Paper	
コントラスト	○	ー	ー	<p>ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。</p> <p>設定値：0～100</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>50ですべての色階調を表示します。</li> <li>画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライテネスで調整することをお勧めします。</li> <li>コントラスト調整は次のような場合に使用してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- ブライテネスが100でも画面が暗いと感じたとき。（コントラストを50以上に設定します。）</li> <li>- ブライテネスが0でも画面が明るいと感じたとき。（コントラストを50以下に設定します。）</li> </ul> </li> </ul>
色温度	○	ー	○	<p>色温度を調整します。</p> <p>通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。</p> <p>炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。</p> <p>設定値：オフ、4000K～10000K（500K単位、9300K含む）</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「K」表示は調整の目安としてご利用ください。</li> <li>「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です。</li> <li>「オフ」で液晶パネル本来の色（ゲインの値はRGB各100）になります。</li> <li>ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。</li> </ul>
ガンマ	○	ー	ー	<p>ガンマ値を調整します。</p> <p>モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。</p> <p>設定値：1.8、2.0、2.2、2.4</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カラーモードで「Paper」を選択すると、ガンマ値は「Paper」と表示されます。</li> </ul>

○：調整可 ー：調整不可

機能		カラーモード			説明
		User1 User2	sRGB	Paper	
詳細設定	色合い	○	ー	ー	色合いを調整します。 設定値：-50～50 <b>参考</b> ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
	色の濃さ	○	ー	ー	色の濃さを調整します。 設定値：-50～50 <b>参考</b> ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 ・最小値（-50）で白黒の画面となります。
	ゲイン	○	ー	ー	色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。 設定値：0～100 <b>参考</b> ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 ・色温度の値に応じてゲインの値が変わります。 ・ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。
リセット		○	○	○	現在選択しているカラーモードのカラー調整値を初期設定に戻します。

## ● 信号設定

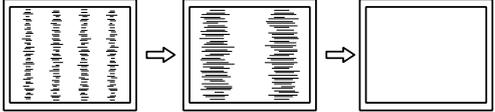
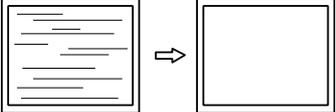
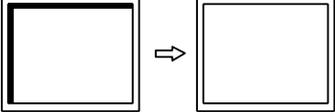
コンピュータから入力された信号を、モニターに出力する方法を設定します。



各機能の設定値は、入力信号により異なります。

○：設定可 ー：設定不可

機能	入力信号		説明
	DVI	D-Sub	
シャープネス	○	○	<p>低解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。このぼやけを軽減することができます。</p> <p>設定値：-2～2</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表示解像度によってはシャープネスを設定する必要はありません。（「シャープネス」を選択することはできません。）</li> </ul>
アナログ調整	ー	○	<p>画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整することができます。「自動画面調整」を選択すると、メッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合</li> <li>- 壁紙など背景を黒で使用している場合</li> </ul> </li> <li>また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。</li> <li>モニターに初めて信号を入力した場合、またはこれまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合は、自動的にセルフアジャスト機能が働きます（解像度が800×600（SVGA）以上の信号のみ）。</li> </ul>
		○	<p>信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0～255）を表示できるように自動調整できます。「自動レンジ調整」を選択すると、メッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。</p>

機能		入力信号		説明
		DVI	D-Sub	
クロック	ー	○	画面の縦線や画面の一部に見られるちらつきを軽減できます。 	
フェーズ	ー	○	画面全体のちらつきやじみを軽減できます。 	
水平ポジション 垂直ポジション	ー	○	画面の表示位置（水平、垂直）を調整できます。 	

**参考**

- ・ 設定が合ったポイントを見逃しやすいので、操作ボタン（< >）を押して、細かく調整してください。

**参考**

- ・ お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくなるものがあります。
- ・ 設定後、画面に縦縞が現れた場合は、再度「クロック」を調整してください。

## ● 本体設定

使用環境やお好みに合わせて、モニター本体の設定をおこないます。

本体設定		
メニュー回転	[	0° ]
パワーセーブ	[	オン ]
電源ランプ	[	オン ]
オールリセット		

機能	説明
メニュー回転	モニターを縦表示にした場合は、設定メニューの向きも変更することができます。 設定値：0°、90°
パワーセーブ	コンピュータの状態と連動して、モニターを省電力モードにすることができます。信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。省電力モードに移行すると、画面を非表示にします。 <ul style="list-style-type: none"><li>省電力モードからの復帰方法 - モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。</li></ul> 設定値：オン、オフ <b>参考</b> <ul style="list-style-type: none"><li>省電力モードの移行の5秒前になると、移行をお知らせするメッセージが表示されます。</li><li>モニターを使用しないときは、電源プラグを抜くことで電力が消費されなくなります。</li><li>ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合も消費電力は変化します。</li></ul>
電源ランプ	画面表示時の電源ランプ（青）を消灯することができます。 設定値：オン、オフ
オールリセット	次の設定を除く、すべての設定内容を初期設定に戻します。 <ul style="list-style-type: none"><li>「Administrator Settings」メニュー内の設定</li></ul> <b>参考</b> <ul style="list-style-type: none"><li>「Administrator Settings」メニューについては、「<a href="#">第4章 管理者向け設定</a>」(P.22)を参照してください。</li></ul>

## ● 言語選択

メニューやメッセージの表示言語を選択することができます。

### 設定値

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、簡体中国語、繁体中国語

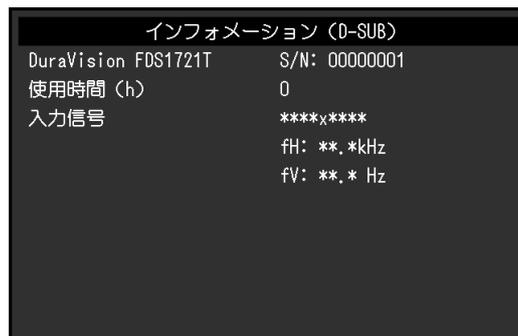


### 注意点

- ・ 「Administrator Settings」メニューの表示言語は変更されません。

## ● インフォメーション

モニターの情報（製品名、製造番号、使用時間、入力信号、解像度）を確認できます。



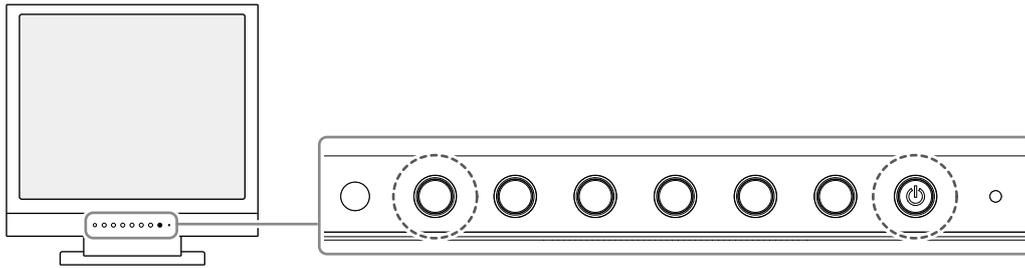
# 第4章 管理者向け設定

この章では、「Administrator Settings」メニューを使ってモニターの動作を設定する方法を説明します。

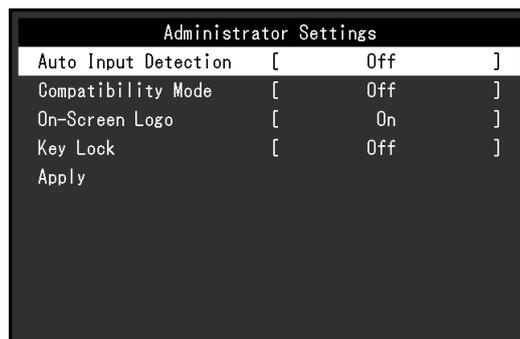
## 4-1. 「Administrator Settings」メニューの基本操作方法

### 1. メニューの表示

1. 電源ボタンを押して、モニターの電源を切ります。
2. 一番左側のボタンを押しながら、電源ボタンを2秒以上押してモニターの電源を入れます。

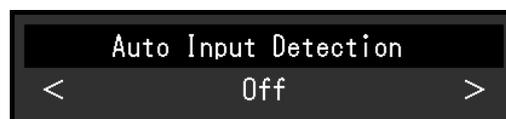


「Administrator Settings」メニューが表示されます。



### 2. 設定

1. **↑** **↓** で、設定したい項目を選択し、**✓** を選択します。  
調整 / 設定メニューが表示されます。



2. **←** **→** で、設定し、**✓** を選択します。  
「Administrator Settings」メニューが表示されます。

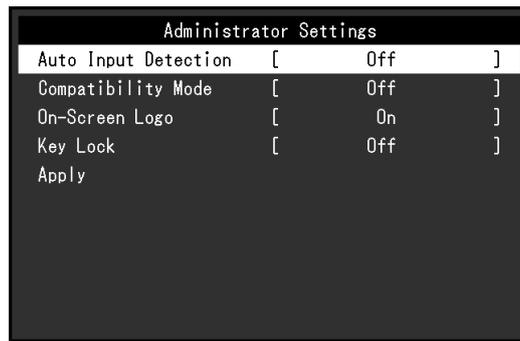
### 3. 確定と終了

1. 「Apply」を選択し、**✓** を選択します。  
設定が確定し、「Administrator Settings」メニューが終了します。

#### 注意点

- ・「Administrator Settings」メニューの言語（英語）は変更できません。

## 4-2. 「Administrator Settings」メニューの各機能



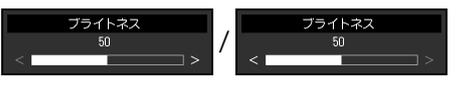
機能	説明
Auto Input Detection	<p>この製品は、信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。コンピュータが省電力モードに入ると、自動的に他の信号を表示します。</p> <p>この機能を「Off」に設定すると、信号が入力されているかどうかにかかわらず、選択しているコネクタからの信号が表示されます。この場合は、モニター前面の操作ボタン（) で表示する入力信号を選択してください。</p> <p>設定値：On、Off</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この機能の設定にかかわらず、電源コードを接続した直後は、信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。</li> <li>この機能が「On」に設定されている場合、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみ、モニターの省電力機能が動作します。</li> </ul>
Compatibility Mode	<p>ご使用のコンピュータおよびグラフィックスボードによっては、入力信号が検出されず、省電力モードから復帰しない場合があります。その場合は、この機能を「On」に設定してください。</p> <p>設定値：On、Off</p>
On-Screen Logo	<p>この製品の電源を入れると、画面にEIZOロゴが表示されます。</p> <p>この機能を「Off」に設定すると、EIZOロゴを非表示にすることができます。</p> <p>設定値：On、Off</p>
Key Lock	<p>設定した状態を変更できないように、モニター前面の操作ボタンをロックすることができます。</p> <p>設定値：Off、Menu、All</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「Off」 すべてのボタンが有効です。</li> <li>「Menu」  ボタンをロックします。</li> <li>「All」 電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。</li> </ul>

# 第5章 こんなときは

## 5-1. 画面が表示されない場合

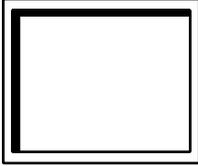
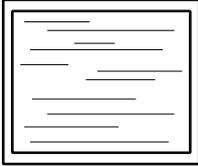
症状	原因と対処方法
<p><b>1. 画面が表示されない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源ランプが点灯しない</li> <li>電源ランプが点灯：青色</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードは正しく接続されていますか。</li> <li>⏻を押してください。</li> <li>設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「カラー調整」(P.15) 参照）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>電源ランプが点灯：橙色</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力信号を切り替えてみてください。</li> <li>マウス、キーボードを操作してみてください。</li> <li>パネル面にタッチしてみてください。</li> <li>コンピュータの電源は入っていますか。</li> <li>ご使用のコンピュータおよびグラフィックスボードによっては、入力信号が検出されず、省電力モードから復帰しない場合があります。マウス、キーボードを操作しても画面が表示されない場合は、次の手順を実行してください。症状が改善される場合があります。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>⏻を押して、モニターの電源を切ります。</li> <li>一番左側のボタンを押しながら、⏻を2秒以上押し続けます。 「Administrator Settings」メニューが表示されます。</li> <li>「Compatibility Mode」を選択します。</li> <li>「On」を選択します。</li> <li>「Apply」を選択し、<input checked="" type="checkbox"/>を選択します。</li> <li>コンピュータを再起動します。</li> </ol>
<p><b>2. 次のようなメッセージが表示される</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>信号が入力されていない場合の表示です。 例：</li> </ul>	<p>この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出られないため、左のような画面が表示されることがあります。</li> <li>コンピュータの電源は入っていますか。</li> <li>信号ケーブルは正しく接続されていますか。</li> <li>入力信号を切り替えてみてください。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。 例：</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「1-4. 対応解像度」(P.9) 参照）。</li> <li>コンピュータを再起動してみてください。</li> <li>グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。</li> </ul>

## 5-2. 画面に関する症状（デジタル、アナログ共通）

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる/暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください（「<a href="#">カラー調整</a>」(P.15) 参照）。 （液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。）</li> <li>Auto EcoView（オートエコビュー）をオンにしてみてください。周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します（「<a href="#">Auto EcoView</a>」(P.12) 参照）。</li> </ul>
2. 明るさが勝手に変わる	<ul style="list-style-type: none"> <li>Auto EcoViewを「オフ」に設定してみてください（「<a href="#">Auto EcoView</a>」(P.12) 参照）。</li> </ul>
3. 「ブライトネス」が調整できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>Auto EcoViewが「オン」に設定されている場合、AutoEcoViewの詳細設定により「ブライトネス」の調整ができないことがあります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>設定値が上げられない/下げられない（ または  がグレーに表示される）</li> <li>- 操作ボタン（）による「ブライトネス」メニュー</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>- カラー調整の「ブライトネス」メニュー</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>Auto EcoView機能は、画面が明るすぎたり、暗すぎたりしないよう、ブライトネスの調整範囲を制限できます。調整範囲を制限している場合、その範囲を超える値に設定することができません。この範囲を超える値に設定したい場合は、次の設定を変更してみてください。</li> <li>- Auto EcoViewの詳細設定で、最大値と最小値の「ブライトネス」の設定を変更する</li> <li>- Auto EcoViewを「オフ」に設定する</li> </ul> Auto EcoViewの設定については、「 <a href="#">Auto EcoView</a> 」(P.12) を参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>設定値が上げられない/下げられない（ および  がグレーに表示される）</li> <li>- 操作ボタン（）による「ブライトネス」メニュー</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>- カラー調整の「ブライトネス」メニュー</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニターの設置環境が極端に明るすぎたり、暗すぎたりする場合は、「ブライトネス」の調整ができないことがあります。この場合は、次の設定を変更してみてください。</li> <li>- Auto EcoViewの詳細設定で、最大値と最小値の「環境光」の設定を変更する</li> <li>- Auto EcoViewを「オフ」に設定する</li> </ul> Auto EcoViewの設定については、「 <a href="#">Auto EcoView</a> 」(P.12) を参照してください。
4. 文字がぼやけて見える	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「<a href="#">1-4. 対応解像度</a>」(P.9) 参照）。コンピュータの設定を変更する方法については、当社のWebサイトを参照してください（<a href="http://www.eizo.co.jp">www.eizo.co.jp</a>）。</li> <li>推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。設定メニューの「シャープネス」で調整してみてください（「<a href="#">シャープネス</a>」(P.18) 参照）。</li> </ul>
5. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。</li> <li>長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。</li> </ul>
6. 画面に緑、赤、青、白のドットが残る/点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"> <li>これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。</li> </ul>
7. 画面上に干渉縞が見られる/液晶パネルを押した跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。</li> </ul>
8. 画面が白っぽい、黒っぽい	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定メニューの「コントラスト」を調整してみてください（「<a href="#">コントラスト</a>」(P.16) 参照）。</li> </ul>

症状	原因と対処方法
9. 画面にノイズが現れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HDCP方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。</li> </ul>

### 5-3. 画面に関する症状（アナログのみ）

症状	原因と対処方法
1. 画像がずれている 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設定メニューの「ポジション」で画像の位置を合わせてください（「水平ポジション」 (P.19)、「垂直ポジション」 (P.19) 参照）。</li> <li>・ グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。</li> </ul>
2. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設定メニューの「クロック」で調整してみてください（「クロック」 (P.19) 参照）。</li> </ul>
3. 画面全体がちらつく、にじむように見える 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設定メニューの「フェーズ」で調整してみてください（「フェーズ」 (P.19) 参照）。</li> </ul>

## 5-4. タッチパネルに関する症状

### 注意点

- ・タッチパネルドライバのインストール方法、使用方法などの詳細は、タッチパネルドライバのインストールガイド（CD-ROM内）を参照してください。

症状	原因と対処方法
1. カーソル位置がずれる / カーソルが飛ぶ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ モニターの電源を入れなおしてみてください。それでも症状が改善されない場合は、キャリブレーションをおこなってください。</li><li>・ 1本の指でタッチするようにしてください。</li><li>・ 推奨解像度以外の解像度で表示する場合、グラフィックスボードのスケール機能の影響でタッチ位置とカーソル位置がずれることがあります。その場合はグラフィックスドライバの設定を確認し、グラフィックスドライバでのスケールからモニターのスケールに変更してください。設定を変更した後に、もう一度キャリブレーションを実施してください。</li></ul>
2. タッチ音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ コンピュータのハードウェア構成によっては、コンピュータの音声出力端子からタッチ音を出力しない場合があります。</li><li>・ タッチ音はコンピュータの音声出力端子から出力されません。タッチ音を鳴らす場合はスピーカーを接続してください。</li></ul>
3. タッチ操作が効かない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ モニターとコンピュータがUSBケーブルで接続されていることを確認してください。</li><li>・ モニターおよびコンピュータの電源コードのアースが接地されていることを確認してください。アースが接地されていないと、誤動作の原因となることがあります。</li></ul>

## 5-5. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 設定メニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「Key Lock」（P.23）参照）。</li></ul>
2. すべての操作ボタンが効かない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「Key Lock」（P.23）参照）。</li></ul>
3. 自動調整機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。</li><li>・ この機能はWindowsなど表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。</li><li>・ 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。</li></ul>
4. 音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ステレオミニジャックケーブルは正しく接続されていますか。</li><li>・ 音量が「0」になっていませんか。</li><li>・ コンピュータおよび音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。</li></ul>

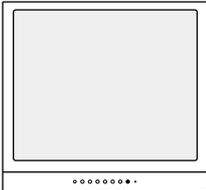
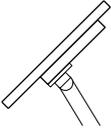
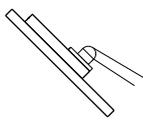
## 第6章 ご参考に

### 6-1. オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。

#### 注意点

- ・取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- ・他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものを選択してください。
  - 取付部のネジ穴間隔：100mm×100mm
  - プレート部の厚み：2.6mm
  - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- ・他社製のアームまたはスタンドを使用する場合、取り付けには次のねじをご使用ください。
  - この製品に付属しているねじ（M4×12mm）
- ・アームまたはスタンド取り付け時の設置可能な方向および可動範囲（チルト角）は次のとおりです。

設置方向		
可動範囲 (チルト角)	 上：45°	 下：45°

- ・モニターを縦方向に回転させないでください。
- ・ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- ・モニターおよびアームまたはスタンドは重いため、落としたりするとけがや故障の原因になります。

#### 取付方法

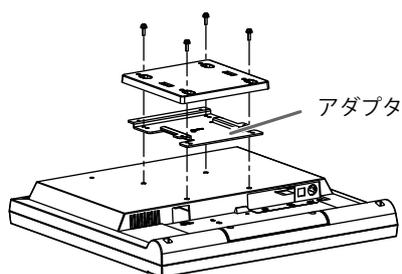
**1. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。**

**2. スタンド部分を取り外します。**

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ4箇所を取り外します。

### 3. アダプタを取り外します。

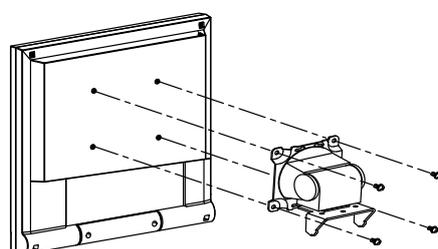
ドライバを使って、本体部分とアダプタを固定しているねじ4箇所を取り外します。



### 4. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のねじを使って取り付けます。

締め付けトルク：1.0 N・m～1.4 N・m



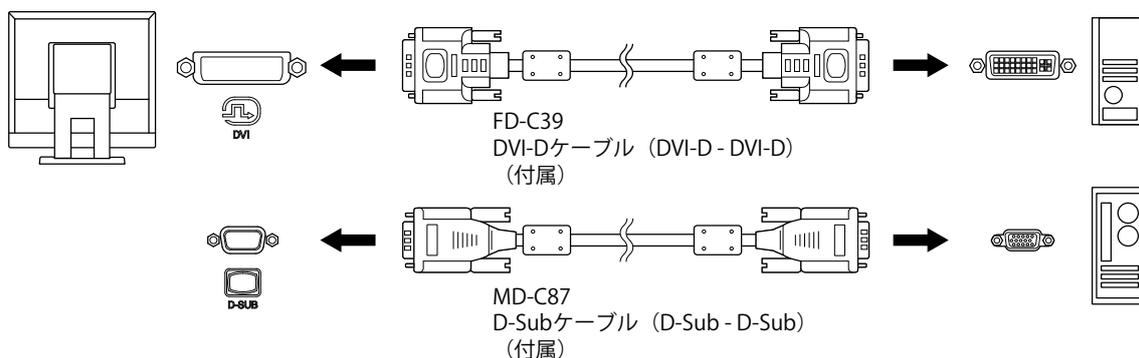
## 6-2. 複数のコンピュータを接続する

この製品は、複数のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

#### 注意点

- Dual Link ケーブルは使用しないでください。
- タッチパネルモニターは、1台のコンピュータでの使用を前提としています。複数のコンピュータと接続する場合は、USB ケーブル（MD-C93）をタッチ操作するコンピュータ（1台のみ）に接続してください。

#### 接続例



#### 参考

- モニター前面の操作ボタン（）を押すたびに入力信号が切り替わります。画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。
- この製品は、信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。詳細は「[Auto Input Detection](#)」（P.23）を参照してください。

## 6-3. 仕様

液晶パネル	サイズ	43 cm (17.0インチ) 型
	種類	TN、LEDバックライト
	視野角	左右170°、上下160° (CR≥10)
	ドットピッチ	0.264 mm×0.264 mm
	応答速度	黒→白→黒：約5 ms
タッチパネル	表面処理	グレア
	表面硬度	7 Mohs
	通信手段	USB転送
	検出方式	超音波表面弾性波方式
	対応OS <sup>*1</sup>	Microsoft Windows 11 (64ビット版) Microsoft Windows 10 (32ビット版 / 64ビット版) Microsoft Windows 8.1 (32ビット版 / 64ビット版) Microsoft Windows 7 Service Pack 1 (32ビット版 / 64ビット版) (Mac OSには対応していません。)
水平走査周波数	アナログ	31 kHz～64 kHz
	デジタル	31 kHz～64 kHz
垂直走査周波数	アナログ	55 Hz～61 Hz (ノンインターレース) (720×400時：69 Hz～71 Hz)
	デジタル	59 Hz～61 Hz (ノンインターレース) (720×400時：69 Hz～71 Hz)
解像度	1280ドット×1024ライン	
ドットクロック (最大)	108 MHz	
最大表示色	約1677万色	
表示サイズ (水平×垂直)	337.9 mm×270.3 mm	
電源	AC100 V - 240 V±10%、50 / 60 Hz、0.4 A - 0.25 A	
消費電力	通常動作モード時	21 W以下
	省電力モード時	1.5 W以下 (USBアップストリームポート接続時)
	電源オフ時	0.5 W以下
信号入力コネクタ	D-Sub15ピン (ミニ) DVI-Dコネクタ	
アナログ信号 入力同期信号	セパレート、TTL、正 / 負極性	
アナログ信号 入力映像信号	アナログ、正極性 (0.7 Vp-p / 75Ω)	
デジタル信号 伝送方式	TMDS (Single Link)	
音声出力	スピーカー出力：0.5 W+0.5 W (8Ω、THD+N≤10%)	
ライン入力	入力インピーダンス：47 kΩ (typ.) 入力レベル：2.0 Vrms (最大)	
寸法 (幅) × (高さ) × (奥行き)	本体	380 mm×397.5 mm×157 mm
	本体 (スタンドなし)	380 mm×353 mm×58 mm
質量	本体	約7.5 kg
	本体 (スタンドなし)	約4.8 kg
可動範囲	チルト角度：上30° 下0°	
環境条件	温度	動作温度範囲： 0℃～35℃ 輸送および保存温度範囲： -20℃～60℃
	湿度	動作湿度範囲： 20%～80% R.H. (非結露状態) 輸送および保存湿度範囲： 10%～80% R.H. (非結露状態)
	気圧	動作気圧範囲： 540 hPa～1060 hPa 輸送および保存気圧範囲： 200 hPa～1060 hPa

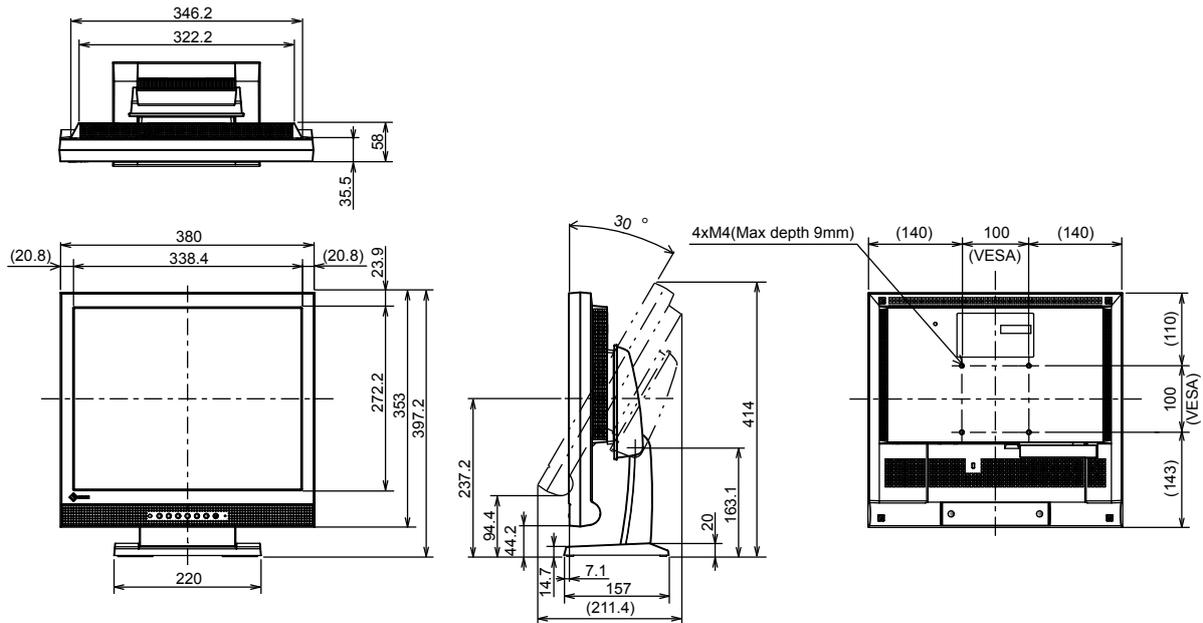
\*1 OS提供元のサポート終了にともない、当社のサポートも終了します。

## 主な初期設定値

Auto EcoView (オートエコビュー)	オン
シャープネス	0
カラーモード	User1
Auto Input Detection	Off
言語選択	日本語

## 外観寸法

単位：mm



# 付録

## 商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。



USB Power Delivery Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。



DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する規格の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、macOS、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i-Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、ScreenCleaner、Screen InStyle、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の会社名、商品名およびロゴマークは各社の商標または登録商標です。

## ライセンス

この製品上で表示される文字には、リコーインダストリアルソリューションズ株式会社が制作したビットマップフォントを使用しています。

## VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定する別売オプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

## その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

# アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

## 保証書について

この製品の保証書はセットアップガイドにあります。必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類（レシートなど）とともに保管してください。

## 修理を依頼されるとき

### 保証期間中の場合

保証書の規定に従い、修理または交換をさせていただきます。

### 保証期間を過ぎている場合

修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

## 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- ・ お名前、ご連絡先の住所、電話番号 / FAX番号
- ・ お買い上げ年月日、販売店名
- ・ 製品名、製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベルに表示されている8桁の番号です。例：S/N 12345678）
- ・ 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード / OS、システムのバージョン / 表示解像度など）
- ・ 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）
- ・ エラーコード（画面に表示された場合）

## 製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。

当社製品は、一般社団法人「パソコン3R推進協会」が回収させていただきます。

回収を希望されるお客様は当社のWebサイトよりお申し込みください。

([www.eizo.co.jp](http://www.eizo.co.jp))

※ この製品は業務用途を意図した製品ですので、ご使用後廃棄される場合は有償となります。

